

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 小淵 千絵 国際医療福祉大学・准教授

研究要旨：人工内耳装用児において、良好な言語・コミュニケーション能力を獲得する上で有用とされる療育手法やその効果について検討した。その結果、聴覚活用指導により聴取能、言語発達促進の効果がみられ、文献調査と同様であった。しかしながら、そのエビデンスについては更に検討が必要であった。

A．研究目的

人工内耳装用児において、良好な言語・コミュニケーション能力を獲得する上では、術前の療育で聴覚活用療育、手話併用療育どのような手法が有用であるのか検討する。

B．研究方法

1) 人工内耳装用児の療育方法に関する文献調査を行い、ガイドラインの作成を行った。

2) 聴覚活用指導を行った、人工内耳装用児の聴取能や言語発達に関して、その実態や経過についてまとめた。
(全て対象児者に説明し、同意が得られた内容に関して分析した。)

C．研究結果

療育手法については、手話併用の優位性はみられなかったものの、聴覚活用指導についてのエビデンスも不足していた。自験例においても健聴児に比して人工内耳装用児で時間分解能や話者識別は低下するものの、小児においては学習によって判断できる例もみられた。

D．考察

聴覚活用指導の有効性に関するエビデンスの集積が今後更に必要と考えられた。

E．結論

人工内耳装用児の療育手法に関して、聴覚活用指導の効果はみられ、手話併用の優位性は確認できなかったが、今後の継続した検討が必要であった。

F．健康危険情報

G．研究発表

1. 論文発表

・山本弥生・小淵千絵・城間将江・麻生伸．聴覚障害乳幼児の時間分解能について．Audiology Japan, 62(4), 282-28

9, 2019)

2. 学会発表

・佐藤美奈子，小淵千絵，加我君孝．聴覚障害児の学齢期における語用能力の発達と読書習慣．Audiology Japan, 62, 462

・山本弥生，小淵千絵，佐藤友貴，大金さや香，麻生伸，坂本圭，城間将江．低年齢の聴覚障害児におけるVOT識別と時間分解能に関する検討．Audiology Japan, 62, 472

・佐藤友貴，小淵千絵，籠宮隆之，大金さや香，城間将江，野口佳裕，加我君孝．人工内耳装用児の話者の男女識別 検査音声の比較による検討．Audiology Japan, 62, 490

・大金さや香，原島恒夫，小淵千絵，佐藤友貴，城間将江，野口佳裕，榎本千江子，加藤秀敏，加我君孝．先天性難聴者による青年期以降の人工内耳装用における音楽聴取 人工内耳装用前後の質問紙の比較から．Audiology Japan, 62, 508

H．知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし